

経済史概論Ⅰ

科目ナンバリング ECH-101
選択必修 2単位

清水 雅大

1. 授業の概要(ねらい)

現代世界における支配的な経済システムである資本主義は、物質的な豊かさをもたらした一方で、深刻な労働問題や経済格差、環境破壊を生み出している。このような資本主義社会を客観的に批判的に再考し、より良い経済生活についての見通しを得るために、資本主義の史的展開を学ぶことは不可欠である。経済史概論Ⅰでは、主に中世・近世の西ヨーロッパ地域を対象として、そこでの封建制の解体から資本主義の成立および発展の過程について学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ・近代資本主義の史的展開(成立および拡大過程)について、経済史的な概念を正確に理解したうえで説明することができる。
- ・近代資本主義の特徴を理解し、これを客観的に批判的に考察することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点40%(課題への取り組み、授業への参加度)
定期試験の成績60%

4. 教科書・参考文献

教科書

馬場哲・山本通・廣田功・須藤功 エレメンタル欧米経済史 晃洋書房、2012年

参考文献

斎藤幸平 人新世の「資本論」 集英社、2020年

5. 準備学修の内容

- ・高校世界史のヨーロッパ中世史・近世史分野を復習しておくこと(授業では高校世界史の知識を前提に講義します)。

6. その他履修上の注意事項

- ・授業では毎回指定教科書を使いますので、受講する場合、教科書の購入は必須です。期末試験では教科書のみ「持ち込み可」とします。
- ・授業中の迷惑行為(私語、飲食、携帯電話、遅刻・途中退室など)は厳禁です(守られない場合には受講を認めない)。
- ・積極的・主体的な授業参加を求めます。

7. 授業内容

- 【第1回】 〈オリエンテーション〉
経済史概論Ⅰで学ぶこと(概要、目的、方法)、テキスト、成績評価、受講上の注意について
- 【第2回】 欧米経済史の課題
- 【第3回】 経済史の基本的枠組み
- 【第4回】 封建領主制の構造と変容
- 【第5回】 中世都市とギルド制
- 【第6回】 中世ヨーロッパ商業の展開
- 【第7回】 封建社会の動揺
- 【第8回】 小括と課題
- 【第9回】 近代世界の成立と大航海時代
- 【第10回】 ヨーロッパ大陸におけるプロト工業化
- 【第11回】 16・17世紀のヨーロッパ経済
- 【第12回】 イングランドの絶対王政、市民革命と重商主義
- 【第13回】 フランス・ドイツの絶対主義と市民革命
- 【第14回】 【オンライン講義】近代資本主義について
- 【第15回】 まとめと定期試験